

持続可能なフードシステム

食の生産と消費を通じた社会的課題の解決を目指す
オーガニック等のサステナブルな食の取り組みに関する
流通・消費・政策の研究

准教授 谷口 葉子 (持続型フードシステム研究室)

E-mail yoko.taniguchi@setsunan.ac.jp

キーワード オーガニック 持続可能性 ローカル
食料経済学 マーケティング



研究概要

背景

- 地球環境が悪化の一途を辿る中、市民一人ひとりが責任ある消費生活を送ることが求められています。
- オーガニックをはじめとするサステナブルな食には、成長のポテンシャルと特有の難しさがあります。
- サステナブルな食の事業者が経営課題を解決するためのデータや情報が不足しています。

目的

- サステナブルな食の発展に寄与する諸事項の解明
- サステナブルな食の市場の客観的な把握と国際比較
- サステナブルな食の推進に資する経営・マーケティング上の諸施策の提言および政策提言

主な成果

- 有機野菜の流通構造の分析と購買層の特性把握
- オーガニック市場の調査手法の検証
- 商品企画を通じた実践的学習の指導
- 食の実践者から学ぶ市民講座の企画・運営
- オーガニックの認知向上のための広報企画
- 事業者向けセミナー講師

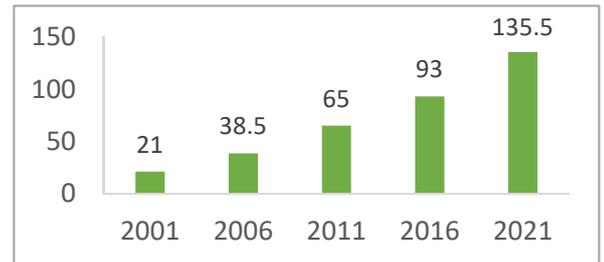
連携への展望

【商品・事業開発】 サステナブルな食の特性に関する知見を商品・事業開発の支援・協働に活かします。

【実態把握】 事業者への訪問調査を通して、市場推計の方法論の検討や流通・販売の実態の整理、事業者の持続可能性評価等に取り組みます。

【企業と学生の協働】 商品開発や訪問調査等、学生と事業者の協働の場づくりを行います。

(単位：10億ドル)

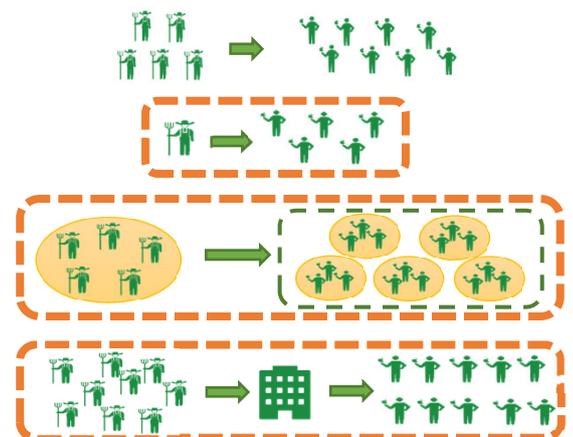


世界のオーガニック食品市場の推移

資料: Willer, et al (Eds.) WoA, FiBL-IFOAM, 2022



国内外のオーガニック市場・産地の調査



オルタナティブな食の流通の分析



アピールポイント

オーガニック等のサステナブルな食の流通・消費に関する知見を、事業者の経営課題の解決に役立てます。